



NPO法人

染色体・遺伝コンサルジュ

<http://www.zb.em-net.ne.jp/~chromosome/>

NPO法人染色体・遺伝コンサルジュ設立の趣旨

染色体や遺伝子の解析技術は、近年猛烈な勢いで進歩しています。しかし、どんな技術でも、進歩すればするほど一般の人々には理解し難くなり、遠い存在となってしまいます。NPO法人「染色体・遺伝コンサルジュ」は、そのような高度の遺伝解析技術を、一般の人々の身近なものとするよう設立されました。臨床医の先生方を対象とした遺伝学的検査の進め方に関する相談や先進的なデジタル染色体検査であるアレイCGH解析のお手伝い、最新情報・技術の提供を行うとともに、一般の方々を対象とした染色体や遺伝についての社会啓発活動、染色体に起因する疾患の患者さまのサポートなどを行うことによって、社会貢献を目指します。

アレイCGH受託解析について

NPO法人染色体・遺伝コンサルジュの解析支援事業の一環としてアレイCGH受託解析を行います。営利が目的ではなく、本来この技術を必要とする患者様にお役に立つことで社会に貢献することを目的としています。

アレイCGH受託解析では、単に結果をご返却するだけでなく、お忙しい臨床医の先生方のために専門的な立場から注釈を加え、FISH法による確定診断から患者様への説明方法までお手伝いします。

アレイCGH受託解析の内容について

解析は東京女子医科大学で研究として行われ、得られたデータからデジタル染色体解析としての最終核型をNPO法人「染色体・遺伝コンサルジュ」が解釈し、注釈付きレポートをお返し致します。臨床検査ではなく、あくまでも研究です。アレイのプラットフォームにより、ある程度のサンプル数がまとまってから解析を開始しますので、1-3ヶ月程度かかる場合がありますが、必ず結果はお返しします。引き続きFISHによる確認が必要である場合、保因者診断が必要である場合などは、状況に応じて次の検査についてアドバイスさせていただきます。

*ご希望の場合には、生のアレイデータをCDなどでお送りします。別途送料をお願いします。

対象

1、先天性疾患

何らかの染色体異常が疑われるにも関わらず、通常のG-bandで異常がない場合のスクリーニング
通常の染色体検査ですでに欠失や転座異常がわかっているが、欠失範囲などを正確に調べたい場合
マーカー染色体の由来が不明の場合
30%以上のモザイク頻度の転座など

2、癌などの変異細胞

適応はありますが、現在はお引き受けしていません。

(除外規定)基本的に研究として行われますので、以下の場合はお引き受けできません。

インフォームドコンセントが取れていない患者サンプル
研究結果を成果として学会発表・論文発表することが許されない場合
研究結果を東京女子医科大学と共有して共同発表することをお許しいただけない場合
解析後のサンプルを東京女子医科大学に研究用として供与できない場合
ヒト以外のサンプル

費用

解析手数料として1検体10万円でお引き受け致します(基本的に4x44アレイを使用)。費用は受益者負担として患者様ご家族にご負担していただくか、研究として研究者側が科研費等でお支払いしていただくか、どちらでも結構です。ただし、以下の場合には費用に関して相談させていただく場合がありますので、あらかじめメールにてご相談下さい。

患者様の症状から東京女子医科大学での研究テーマに合致しない場合
さらに高解像度のオリゴアレイでの解析を希望される場合
注釈レポートが不要で、生データのみを希望される場合
血液以外のサンプルを対象とする場合
その他

お申し込み方法・手順

1. 正会員として入会:正会員の方からのみお申し込み致しますので、ご希望の場合は、あらかじめ正会員としてご入会願います。(アレイCGH解析は採血を伴いますので、医師のみお申し込み可能です。一般の方はお申し込みできません。)
2. 解析ご希望の内容についてあらかじめ電子メール(npo_chromosome@yahoo.co.jp)でお知らせ下さい。(解析内容と費用、検体授受の方法などについて、あらかじめメールにてご相談させていただきます。)
3. 同意書の書式を送付致しますと同時に、ランダムに付与されたID番号をお知らせしますので、銀行にて患者様のお名前、あるいは付与されたID番号を入力して費用をお振込み下さい。(個人情報保護の観点からID番号による振込みをお勧めしております。ID番号を正しく入力いただけないと入金の確認できない場合がありますので、ご注意ください。費用の振込みは患者様ご自身がされても正会員の先生がなされてもどちらでも結構です。)
4. 入金後下記の方法で検体を送付下さい。

検体の送付方法

- 末梢血5cc以上を通常に採血して下さい。
- 染色体検査用のヘパリンNaチューブに入れ、凝固しないよう攪拌して下さい。
- 常温のまま翌日必着でお送り下さい。(検体の一部からDNA抽出し、残りの一部から染色体FISH検査用のカルノア標本を作成し、最後に残った検体は芽球化保存しますので、決して冷やさないで下さい。EDTA Naチューブは使用できません。)
- 発送時にもう一度ご連絡下さい。
- なるべく検体到着が週末にならないように採血日程の調整をお願いします。

【検体送付先】

〒162-8666
東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学
国際統合医科学インスティテュート(IREIIMS)
山本俊至 宛

【連絡先】

npo_chromosome@yahoo.co.jp

詳細はwebでご確認下さい。 <http://www.zb.em-net.ne.jp/~chromosome/>